

2015年7月14日

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

【開催報告】「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」

受賞記念講演会・シンポジウム

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団は「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞※」の受賞記念講演会とシンポジウムを開催しました。

※「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」は、優れた社会福祉学術文献を表彰する制度で、社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者・研究者の研究意欲を促進と、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的として1999年に創設しました。

記

1. 開催した日 : 2015年7月11日(土) 13時～17時
2. 場 所 : グランドアーク半蔵門 (東京都千代田区)
3. 参加人数 : 約150人(大学関係者、学生・研究者、企業・行政の担当者、障害者団体ほか)
4. 主催: 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
後援: 厚生労働省、一般社団法人日本社会福祉学会、日本地域福祉学会
日本社会福祉系学会連合、一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟
5. 内 容
 <第Ⅰ部> 受賞記念講演会
 講演者: 斉藤 弥生氏 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)
 内 容 : 受賞著書「スウェーデンにみる高齢者介護の供給と編成」
 <第Ⅱ部> シンポジウム
 テ ー マ : 「地域包括ケアシステムの確立に向けてのサービスの供給と編成のあり方」
 コーディネーター: 岩田 正美氏 (日本女子大学名誉教授)
 パネリスト : 白澤 政和氏 (桜美林大学大学院老年学研究科教授)
 二木 立氏 (日本福祉大学学長)
 コメンテーター : 斉藤 弥生氏 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)
6. 参加者の感想
 - ・スウェーデンの高齢者介護の歴史的な移り変わり、コミュニティを中心としたシステムは、日本の介護問題にも参考になると思った。
 - ・供給と編成の連携の具体策をもっと詳しく聞いてみたかった。
 - ・シンポジウムでは、制度の実態と運用、理念の裏側が分かり勉強になった。
 - ・地域包括ケア、システム、ネットワークの課題が整理されていた。
 - ・地域包括ケアをめぐる様々な問題点や可能性を知ることができた。
 - ・まちづくりを含めた視点は今後重要になると思う。

以上